

「第28回 鴨叡会・生命分子化学科セミナー」

◆講師◆ **川端 猛夫 教授**
(京都大学 化学研究所)

◆演題◆ **有機触媒を用いる位置選択的分子変換**

◆日時◆ **2015年9月18日(金) 午後3時20分-**

◆場所◆ **稲盛記念館 106教室**

京都大学化学研究所の川端猛夫先生を講師に迎え 第28回鴨叡会・生命分子化学科セミナーを開催します。

川端先生は、反常識的な合成変換である、不斉記憶の概念とその実証をはじめ、極めて独創性の高い研究を長年にわたり展開しておられます。

今回の講演では有機触媒を用いた反応について講演いただきます。生命分子化学科の3回生学生実験では、有機触媒としてプロリンを用いた不斉アルドール反応を行っています。プロリン以外にも様々な有機触媒が開発されています。川端先生の開発された有機触媒(巷では、川端触媒と呼ばれています)は、例えば、糖類の数多く存在する水酸基を見分けて、ある特定の位置の水酸基のみアシル化する事ができます。つまり、糖を保護基でガチガチに固めてから化学変換する必要がない、利点の多い変換が可能です。

出来るだけ基礎的な事から話していただくようお願いしています。2回生、3回生諸君もふるって参加してください。

皆様のご来聴を歓迎いたします。

◆連絡先◆ **機能分子合成化学研究室**
椿 一典・倉持 幸司
E-mail: tsubaki@kpu.ac.jp Phone 703-5902